

---

# インチキ傾向

りの。

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

インチキ傾向

### 【Nコード】

N3151BA

### 【作者名】

りの。

### 【あらすじ】

当然心臓の鼓動は速い。

焦っている。

今僕はとてつもなく焦っている。

お風呂に入ったばかりだと言うのに、シャツは汗でびっしょりだ。どうして焦っているか聞きたい人なんて誰もいないだろう。

だけど僕が焦っている理由を聞いて共感してくれる人はいるだろう。なぜなら人は多いし自分はなにか突出した人間ではないからね。

じゃあ話すでしょうか。

そうだね。端的に言つと、焦りであり、苦痛であり、恐怖である。なにに対してか。それは多くの物に共通するものではあるけれど、今回はその中の一つである小説について話そうか。

小説を書く。他の小説を見る。自分のいままで書いた小説を見る。大きく分けると、「小説」にはこの三つのアクションに分けられるわけだけど、僕が「小説」というジャンルにログインしたばかりのときは、いわゆる普通なんだが、だんだん、自分が小説を書いていくうちに、そして他人の小説を見。そして自分のいままで書いた小説を見る度に、どうしてあの人はそういう言葉が使えるんだろうとか、どうして自分は以前こんなことがかけたんだろうとか、自分はこういった気持ち、姿勢で小説を書いていたんだろうとかを考え出して、止まらなくなる。

単にこうすればいいだけなのね。

そこにいちいち、いろんな考えをねじこませていくから汗が噴き出してくるような結果に至っちゃうんだよ。

わかる？

自分でもわからない。わからないからかくんだけどね。とにかく、こういった現象に、すぐ、そして気付かずに踏み込んでしまつから怖いもんなんだ。

全く。

一体自分はなにを見ていたんだろう……。夢のようだ。  
そんなせりふをサハラ砂漠のど真ん中涼しい真夜中まんまるで白い  
月が天中よりすこしかげったところにある中思う。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3151ba/>

---

インチキ傾向

2012年1月8日03時46分発行